



上野原縄文の森

上野原縄文の森開園20周年！！

上野原縄文の森は、平成14年10月5日に「縄文時代早期前葉の国内最古・最大級の定住集落跡」（国指定史跡）や「縄文時代早期後葉の精神文化がわかる出土品」（重要文化財）などが発見された上野原遺跡の保存・活用を目的に開園し、本年度で20周年を迎えました。

20周年を記念し、開催したイベントを紹介します。

上野原縄文の森開園20周年記念 かごしま遺跡フォーラム

開園20周年を記念して、10月22日（土）に霧島市国分シビックセンターにおいて、かごしま遺跡フォーラムを以下の内容で開催しました。

- ・第一部 上野原遺跡と南の縄文世界
～縄文文化観の転換に迫る～
講師：南九州縄文研究会前会長 新東 晃一氏
- ・第二部 記念フォーラム
縄文時代の植物利用について
 - ① 明らかになった縄文人の知恵と技
講師：鹿児島県教育庁文化財課 眞邊 彩氏
 - ② 縄文人を支えた南の豊かな森
講師：環境カウンセラー 寺田 仁志氏
 - ③ 土器を掘るX線が映し出す雑草・害虫の真の姿
講師：熊本大学大学院人文社会科学部教授 小畑 弘己氏
- ・パネルディスカッション
- ・パネル展示見学

多くの方に来場いただき、アンケートでは「各発表者が専門的に研究された内容が、どれも興味深く新鮮でした」「圧痕の体験をしてみたい」「土器を見ると、もっと観察の眼で見てみようと思う」「今後も縄文文化（南九州）のアピールに努めてほしい」など貴重な御意見をいただきました。



上野原縄文の森では、11月23日（水・祝）まで南の縄文文化～縄文人の心を探る～を開催中です。

今回の企画展では南の縄文文化のなかでも祈りの精神文化に焦点を当て、北の縄文文化と比較しながら紹介しています。ぜひ御来園ください。

上野原縄文の森開園20周年記念 秋まつり



11月5日（土）、6日（日）に開催した今年の秋まつりは、開園20周年を記念して、福岡県の九州歴史資料館からVR古代体験や宮崎県の西都原考古博物館から石包丁作り体験など、県外の博物館施設等を招き、今回だけの特別体験を実施しました。

このほか、みやまコンセルのプロの演奏家や地元中学生・高校生によるステージパフォーマンス、弓矢作りなどの縄文体験やクイズ大会、さらには地元霧島市のマルシェも開催するなど、例年にも増して内容盛りだくさんで開催しました。

天候にも恵まれ、2日間を通して多くの方に御来場いただきました。

今後も参加体験型イベントを通して、の人々が憩い、楽しみ、集う場を提供するとともに、鹿児島県の郷土の歴史・文化や上野原縄文の森への関心を高めてもらう活動を行っていきます。



【縄文体験の様子】